

Beyond 5Gに向けた総務省の取組について

令和5年12月21日
総務省

Beyond 5G基金事業について

- 令和5年3月に国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）に恒久的な基金（情報通信研究開発基金）を設置。
- 本基金を活用し、2030年代の導入が見込まれる次世代情報通信インフラBeyond 5G（6G）について、我が国の国際競争力の強化や経済安全保障の確保を図るため、以下の重点技術分野を中心として、社会実装及び海外展開を見据えた民間企業や大学等による研究開発・国際標準化を支援。

基金事業の実施スキーム



①社会実装・海外展開志向型戦略的プログラム

- 助成型：社会実装・海外展開を目指した研究開発を支援
- 委託型：業界横断的な共通基盤技術の研究開発（予定）

②要素技術・シーズ創出型プログラム

- 委託：社会実装まで一定の期間を要し、中長期的視点で取り組む要素技術の確立や技術シーズの創出のための研究開発

③電波有効利用研究開発プログラム

- 委託：電波の有効利用に資する技術の研究開発

④国際標準化活動支援メニュー（予定）

- 助成：国際標準化活動に必要な旅費や専門人材の人件費等を支援

重点技術分野

令和4年6月の情報通信審議会「Beyond 5Gに向けた情報通信技術戦略の在り方」中間答申を踏まえ、以下の3技術を重点技術分野として支援している。

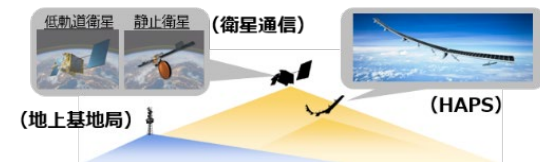
①オール光ネットワーク関連技術

通信インフラの超高速化と省電力化を実現



②非地上系ネットワーク関連技術

陸海空をシームレスにつなぐ通信カバレッジ拡張を実現



③セキュアな仮想化・統合ネットワーク関連技術

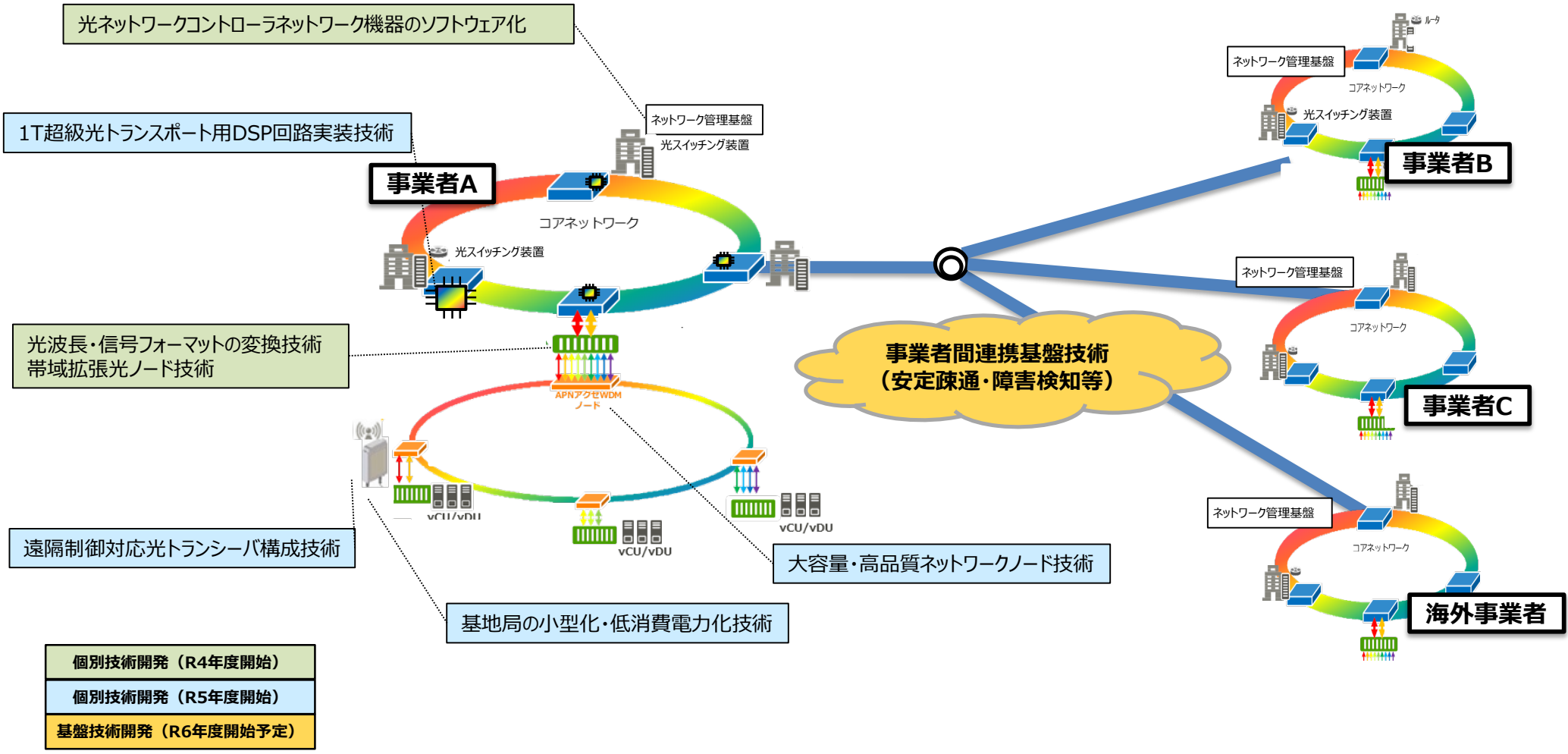
利用者の安全かつ高信頼な通信環境の実現

<予算>

総額1,002億円（令和4年度補正：662億円、令和5年度当初予算：150億円、令和5年度補正予算190億円）

オール光ネットワークの構築に向けた技術開発の概要

- 総務省では基金等を活用し、令和4年度よりオール光ネットワークの実現に必要な個別技術の研究開発を実施中。
- 令和6年度からは令和5年度補正予算も活用し、オール光ネットワークの事業者間連携のための共通基盤技術の研究開発を実施予定。



情報通信審議会におけるBeyond 5G技術戦略の検討

【主な検討事項】

(1) 新たな戦略の基本的方向性

Beyond 5Gをめぐる国内外の研究開発・国際標準化活動の進展や活用に向けた動向、我が国が抱える国際競争力の低下等の社会的課題、経済安全保障環境の変容等を踏まえ、新たな戦略に求められる基本的方向性を検討する。

(2) 研究開発の在り方

複数事業者によるオール光ネットワークの参入等を見据え、早期の社会実装やグローバルなBeyond 5Gのエコシステムの拡大に向けて重点的に推進すべき研究開発事項を含む研究開発の在り方を検討する。

(3) 国際標準化の在り方

2030年頃に向け、世界的に有力な複数の標準化団体において国際標準化活動が本格化する見込みであること、標準化人材に関する課題等を踏まえ、これらの活動を我が国が主導するために必要な支援策を含む国際標準化の在り方を検討する。

(4) 社会実装の在り方

オール光ネットワークの活用に向けた先進的な取組等を踏まえ、官民における先導的なユースケースの具体化を含む社会実装の在り方を検討する。

(5) 海外展開の在り方

国際的なBeyond 5G市場の獲得に向けたシナリオの具体化と必要な支援策を含む海外展開の在り方を検討する。

(6) その他必要と考えられる事項

【今後の検討スケジュール（案）】

